

令和3年第1回定例会

総括質疑通告一覧表

質疑順序 会派名 代表(個人)質疑者氏名 発言日/質疑時間	質疑項目	質疑の要旨	関連質疑者
<p style="text-align: center; font-size: 2em; font-weight: bold;">1</p> <p style="text-align: center; font-weight: bold;">ちがさき自民クラブ</p> <p style="text-align: center; font-weight: bold;">小島 勝己</p> <p style="text-align: center; font-weight: bold;">3月3日/150分</p>	1 予算編成について	(1) 新型コロナウイルス感染症対策を最優先課題に、市民の安全・安心の確保や、地域経済循環の促進、セーフティネットなど、市民生活に重点を置いた予算編成は堅実な予算と言えるが、未来のことも着実に推進するためには攻めの事業も重要である。これについて所見を問う。	
	2 ウィズ・コロナ関連事業について	(1) 新型コロナウイルス感染症の感染防止対策に関する、次の事項について問う。 ・保健所機能の拡充 ・クラスター対策 ・病床利用率とその対策 ・在宅療養者の支援 (2) ワクチンの接種がようやくスタートする。コロナ禍収束の転換点になる事業であることは間違いない。迅速・正確な情報を市民に提供し、万難を排して取り組まなければならない。次の事項についての準備状況を問う。 ・医師、看護師の必要人員の確保 ・個別接種、集団接種における接種場所 ・低温管理が必要なワクチンを無駄なく行き渡らせる仕組みづくり (3) G I G A スクール構想への対応について ・1人も取り残さない教育の実現に果たす、ICTの役割は大きい。効果的な活用のためには、ICTを使いこなせる教師の体制づくりは重要である。併せて、35人学級が公立小学校で順次実施されている。教育現場の対応等について問う。	
	3 市民の安全・安心の確保に関する事業について	(1) ごみの減量化について ・ごみの処理には、毎年30億円を超える経費がかかっている。令和15年には最終処分場の使用期限の到来、焼却灰の処理にかかる費用や施設整備の費用の増加が見込まれ、将来にわたって安定的にごみ処理を継続していくためには、これまで以上にごみの減量に取り組むことが必要である。平成29年度家庭系ごみの排出量4万6千トンと令和16年度までに25%減の3万4千トンまで削減することを目指しているが、その進捗状況と課題について問う。	
	4 地域経済の促進について	(1) 茅ヶ崎ローカル応援チケットの今回の発行額について ・前回の実施による経済的効果と課題について問う。 (2) 緊急雇用報奨金の創設について ・具体的な施策内容について問う。 (3) 茅ヶ崎漁港北側の駐車場・多目的広場の開設について ・開設による経済的効果の見込みについて問う。	
	5 市民のセーフティネットについて	(1) 生活困窮者支援、自立支援、住まいの確保について問う。 (2) 介護予防と認知症早期発見の体制づくりについて問う。 (3) 共生社会の推進における相談員養成と地域の体制づくりについて問う。 (4) 市立病院の経営について ・令和3年3月末の決算見通しとリバイバル・ロードマップへの取り組みの成果及び課題、今後の経営戦略による目標について問う。	
	6 財政健全化緊急対策について	(1) 厳しい経済環境の中、持続可能な市政運営のため財政の健全化は必要不可欠である。コロナ禍で、社会や経済への打撃は計り知れない状況にあるが、将来に向け、持続可能なまちにするためには避けて通れない。従って、前年に策定した次の事項についての成果、課題を問う。 ・総人件費の削減 ・事務事業の見直し ・補助金の見直し ・道の駅オープンの延期、(仮称)茅ヶ崎市歴史文化交流館関連事業の延期、恒常的事業の見直し等の事業の大胆な見直し (2) 今後につながる継続性のある財政健全化への取り組みについて問う。	

質疑順序 会派名 代表(個人)質疑者氏名 発言日/質疑時間	質疑項目	質疑の要旨	関連質疑者
2 絆・新しい風 青木 浩 3月3日/150分	1 施政方針の基本的な考え方について	(1) 令和3年度は百年に一度の公衆衛生危機とも言われるコロナショックのさなかにあり、今回の施政方針は、叙情的な表現も含めて未曾有の危機に立ち向かう市長の決意表明とも読み取れる。様々な困難に立ち向かう事案に対し、厳しい状況下で取り組まなければならない。市長自らの公約や市民サービス水準の引き下げ、提供の停止など断腸の思いもあると思うが、特に市民に発信したい思いについて所見を問う。	
	2 予算編成について	(1) 「新型感染症強靱化対策」「ウィズ・コロナ関連事業」等、優先的かつ重点的に取り組むために各事業の必要性を見直し、可否を判断し、義務的事業、及び留意すべき事業として安全・安心、地域経済循環の促進事業、市民のセーフティネットなどの事業の仕分けと絞り込みをしたが、その判断と方針を問う。 (2) コロナ禍において、財政調整基金の積み立てをしっかりと確保することが重要だが、厳しい財政状況が続く現状のなか、市の考えを問う。 (3) 歳入の根幹をなす市税の減収とともに、市債償還金は令和4年度以降、ピークが約60億円になるがその対応について問う。	
	3 「ウィズ・コロナ関連事業」について	(1) 「新型感染症強靱化対策」について、企業移転、サテライトオフィス設置に加え、法人市民税を増やす取り組みとして、本社誘致や特例子会社誘致について、市内の環境を整える取り組みを問う。 (2) 地域経済への支援について、市内店舗、また各業界における経済状況の現状調査、検証の実施と今後の対策について問う。 (3) 新型コロナウイルス発生から約1年が経過するが、国のGIGAスクール構想も含め、学校教育現場のICT環境整備の強化など、児童・生徒の指導・学習への対応について問う。	
	4 「市民の安全・安心の確保に関する事業」について	(1) 新型コロナウイルス感染を想定した公共施設を利用した指定避難所と二次避難所である民間施設の運用・考え、また、市民への理解を深めるための取り組みについて問う。	
	5 「地域経済循環の促進に関する事業」について	(1) 茅ヶ崎市の海辺は地域経済向上に重要なエリアであり、茅ヶ崎漁港北側の駐車場・多目的広場を最大限活用すべきと考えるが、漁港やその周辺地域の魅力向上について、取り組みを問う。 (2) 道の駅整備事業が延期されたが、国道134号を線と捉えて活性化を図るという計画当初の構想について、現在の市の考えを問う。また、旧西浜駐車場について今後の活用施策を問う。	
	6 「市民のセーフティネットに関する事業」について	(1) 市立病院に関し、現在コロナ禍における市立病院の存在意義は大きいものとするが、コロナ禍によりさらに経営状況は厳しくなっている。現在、リバイバル・ロードマップに基づいて改革を進めているが、当初の目標の達成は困難と考える。経営改革期間延長も視野に入れるべきではないのか。また、このような状況下、茅ヶ崎市立病院在り方検討委員会が経営形態等に関する事項を審議し、提言後速やかに必要な対応を講じるとされているが、この時期に判断されることは適正なのか、市の考えを問う。 (2) 産後ケア事業が新年度から主要な事業として実施される。法令化され、事業の実施については努力義務だが、新型コロナウイルス感染症に鑑み、子育て支援の街の構築に向けて、実際の市民ニーズに即した産後ケアの取り組みを問う。	
	7 「財政健全化緊急対策」について	(1) 令和2年から4年までの3年間を通して取り組むが、市が置かれている状況は危機的状況である。そのなか、取り組みの一環として、道の駅、(仮称)歴史文化交流館の整備に合わせて実施を予定していた関連事業の延期が挙げられているが、この二つの事業はコロナ以外の要因もあり延期せざるを得なくなった。人件費、事業の見直しなど、検討を行ってきたが、コロナ対策、経済の回復など今やるべきことが多くあるなか、財政健全化改革に取り組む市の考えを問う。	
	8 これからの市政運営について	(1) コロナ禍によって新しい生活様式やビジネススタイルが変化を遂げた昨年来、テレワークの普及により仕事とプライベートの両立のために市外から茅ヶ崎市へ転居を望む方が増加傾向にあり、この動きを街づくりの活力につなげていく必要があると考えるが、市の考えを問う。 (2) デジタル・トランスフォーメーションを促進し、市政運営スタイルを一新することに併せて、リモートワーク等、庁内のICT化環境整備についての取り組みを問う。 (3) 市民の努力と英知を結集するためには、今まで市民が積み重ねてきた活動をどのように捉えているのか、また、今後新たな市政運営スタイルにどのように取り組まれるのか、市の考えを問う。 (4) 昨年からの感染症対策として、市民の方々にはご理解をいただいてきたが、新年度を迎えるに当たり、未だに感染終息には至っておらず、多くの人が苦境に立たされている。特に児童、生徒における最終学年の子供たちについては目標としていた大会等が中止となった。施政方針の中で、市長は「皆さまが描いた未来を今、見失ったとしても、諦めずに歩み続けた人には、きっと輝くような色鮮やかな光景がよみがえると信じている」とされている。その輝くような色鮮やかな光景とは何か、市長の所見を問う。	

質疑順序 会派名 代表(個人)質疑者氏名 発言日/質疑時間	質疑項目	質疑の要旨	関連質疑者
3 市民自治の会 小磯 妙子 3月4日/120分	1 ウィズ・コロナ関連事業と市民のセーフティネットについて	(1) 生活困窮及び「新しい生活様式」に対応しにくい市民への支援の必要性について (2) 文化、福祉などの市民活動への継続した支援の方針について	
	2 地域福祉における包括的支援体制について	(1) 地域の実情に合わせた制度の構築に向けて (2) 子どもから高齢者まで、切れ目のない相談体制と支援のための実効的な人材と財源の確保について	
	3 市民主体の市政運営について	(1) 自治基本条例に則った行政運営の推進について (2) 市民参加条例、公文書等の管理に関する条例への理解を進める方針について (3) 市民利用施設の利用者を主体とした運営について	
質疑順序 会派名 代表(個人)質疑者氏名 発言日/質疑時間	質疑項目	質疑の要旨	関連質疑者
4 公明ちがさき 滝口 友美 3月4日/120分	1 「ウィズ・コロナ関連事業」について	(1) 新型コロナウイルスワクチン接種の対応について ・接種会場における対応について問う。 ・ワクチン接種の優先順位について問う。 ・新型コロナウイルス感染者等情報把握・管理支援システム (HER-SYS) 等感染症対策関係システムの運用など保健所の体制強化の取り組みについて問う。 (2) 就労を希望する市民への就労支援の推進について問う。 (3) 35人学級の実現など、一人一人の子どもの深い学びにつながる新たな学習環境について問う。 (4) 「GIGAスクール構想」を実現するためのソフト面、ハード面のサポート体制について問う。 (5) 「認知症カフェ」のリモート開催について問う。	阿部 英光
	2 「市民の安全・安心の確保に関する事業」について	(1) 地震・津波・風水害に対する防災・減災施策について問う。 (2) 「避難行動要支援者」の「個別計画」に関する取り組みについて問う。	阿部 英光
	3 「地域経済循環の促進に関する事業」について	(1) 「まち・ひと・しごと創生総合戦略」実現のための市の工夫と市民力を活かす施策について問う。 (2) 民間活力や市有財産を活かした地域・経済活性化施策について問う。	阿部 英光
	4 「市民のセーフティネットに関する事業」について	(1) 生活維持のための情報提供の在り方について問う。 (2) 地域福祉総合相談室においての包括的な運用体制の構築について問う。	阿部 英光
	5 「財政健全化緊急対策」について及びこれからの市政運営について	(1) 令和3年度予算編成について、市民と連携して危機を乗り越える施策を問う。 (2) 市政運営の新たなスタイルとして、国の「スーパーシティ構想」を踏まえたA Iやビッグデータを活用した街づくりについて問う。 (3) デジタル化社会に向けた、誰一人取り残さない施策について問う。	阿部 英光
質疑順序 会派名 代表(個人)質疑者氏名 発言日/質疑時間	質疑項目	質疑の要旨	関連質疑者
5 湘風会 榎木 太郎 3月4日/90分	1 施政方針について	(1) 新型コロナウイルス感染症対策と自治体経営について ・最低限のまちの機能維持に必要な義務的事業に限定した中での、市民への影響を踏まえた取り組みについて (2) 予算編成について ・歳入減に対応した市の価値や行政サービスを低下させないような歳出抑制の考え方について	
	2 ウィズ・コロナ関連事業について	(1) 新型コロナウイルス感染症対策と各行政機関の連携について (2) 緊急経済・生活対策の取り組みと課題について	
	3 学校教育について	(1) GIGAスクール構想と学校教育におけるICTの利活用の可能性について (2) 新たな制度と教員の意識改革について	
	4 将来を見据えた戦略的シティセールスについて	(1) アフターコロナを見据えた取り組みについて ・人口減少や少子高齢化を見据えた持続可能な経営を行うための取り組みについて	
	5 市民のセーフティネットに関する事業について	(1) 誰一人取り残さない市民のセーフティネットとしての機能を維持していくことについて (2) 高齢者が安心して健康で暮らせることを目指し、後期高齢者事業、介護予防事業、地域の中で支えあう共生社会の推進に向けた取り組みについて	

質疑順序 会派名 代表(個人)質疑者氏名 発言日/質疑時間	質疑項目	質疑の要旨	関連質疑者
6 新政ちがさき 新倉 真二 3月5日/90分	1 本市の財政について	(1) 本市の経済情勢と今後の財政の見通しについて問う。	
	2 総合計画について	(1) 実施計画の2年先送りについて、市政への影響を問う。	
	3 ウィズ・コロナ関連事業について	(1) 事業選択の基準について問う。	
	4 コロナ対策について	(1) 職員体制などの今までの評価と今後に向けた改善点を問う。	
	5 緊急経済・生活対策について	(1) 小児医療費助成事業について考えを問う。 (2) 子どもたちの学習環境や貧困対策について考えを問う。	
	6 ごみ減量化に関する事業について	(1) 剪定枝の資源化とごみの有料化について問う。	
	7 防災対策について	(1) 地域防災について、現状と今後の課題を問う。	
質疑順序 会派名 代表(個人)質疑者氏名 発言日/質疑時間	質疑項目	質疑の要旨	関連質疑者
7 日本共産党 茅ヶ崎市議会議員団 中野 幸雄 3月5日/60分	1 新型コロナウイルス等の感染症対策について	(1) PCR検査体制の強化を問う。 (2) 保健所の機能強化を問う。	
	2 暮らしを守る支援について	(1) コロナ禍における生活保護申請等の状況及び運用について問う。	
	3 子どもの医療費助成制度について	(1) 所得制限及び一部負担金を令和3年度に限り適用しないと判断した経緯を問う。	
	4 小・中学生の学習環境の整備について	(1) 一人一台タブレット端末導入における緊急時の活用について問う。 (2) 少人数学級実施に向けた本市の課題を問う。	
	5 東日本大震災から10年で得られた教訓について	(1) 地震発生時の液状化対策等、震災発生時の対応及び揺れから身を守る施策等の周知徹底を改めて問う。 (2) 福島原発の処理が未だに続く現状から再生可能エネルギー推進の取り組みを問う。 (3) 市として「気候非常事態宣言」を発することについて問う。	

質疑順序 会派名 代表(個人)質疑者氏名 発言日/質疑時間	質疑項目	質疑の要旨	関連質疑者
<p style="text-align: center;">8</p> <p>藤村 優佳理</p> <p>3月5日/30分</p>	1 令和3年度当初予算について	(1) 令和3年度当初予算のポイント及び財政健全化・新型コロナウイルス感染症対策等、課題が多い中での予算編成について問う。	
<p style="text-align: center;">9</p> <p>伊藤 素明</p> <p>3月5日/30分</p>	1 これからの市政運営について	(1) 各職員が持っている能力を最大限に発揮していくための適切な職場への配置替えを含めた組織体制の在り方や、働きやすい職場環境の整備について問う。	
	2 人口減少対策について	(1) 「住みたい・住み続けたい」と思えるまちの魅力を内外にPRし、人や企業に関心を持ってもらうことで、転出を抑制し、移住・定住促進を図る社会増減対策の取り組みについて問う。	
	3 男女共同参画社会の推進について	(1) パートナーシップ宣誓制度の運用に当たり今後の情報発信や周知への取り組みについて問う。 (2) 学校教育における「子どもの自立と共生」を基本とする「心の教育」に対する取り組みについて問う。	